＜研究課題名＞

子どもへの成育環境の影響を測定するマルチモダール MRI 神経ネットワーク指標の開発

特に健康上の異常がないお子さんとそのお母様へ

現在、東京大学医学部附属病院こころの発達診療部では、お子さんとそのお母様を対象に、MRI（脳画像）研究に参加していただける方を募集中です。

以下の項目に、すべて該当するかどうかをご確認ください。

この研究にご参加いただける方

【お子さん】

□	①　現在、小学生で 8~12 歳の方
□	②　日本語での会話、面接、検査の実施ができる方
□	③　現在、大きな病気などで定期的に医療機関での加療を受けていない方

【お母様】

□	①　現在、20~60 歳で、お子さんのお母様、女性の養育者や保護者の方
□	②　日本語での会話、面接、検査の実施ができる方

※この他にも、研究に参加していただくための基準があります。
医師および心理士が検査などを行い、参加できるかを確認させていただきます。

この研究を行う目的

子どもの成育環境は、社会の要因・養育者側の要因・子ども側の要因（愛着の質、疾患特性など）の三者が相互に影響しあって形成され、その中でも特に子どもの愛着が重要であると考えられています。そこで本研究は、愛着が形成される複雑な生物学的メカニズムの一つと考えられている情動の制御に関与する脳回路に着目し、MRI による脳構造画像や脳機能画像を用いて研究を行います。

この研究は、MRI を用いて子どもの愛着に関連する脳回路結合を調査し、成育環境の脳回路への影響を測定する客観的な指標を確立することを目的とするものです。

この研究で実施する内容

▶part 1：成育環境の脳に与える影響の指標開発【こどもと親の MRI 研究】

お子さんとそのお母様には、

1. MRI 検査（MRI を用いた脳機能計測）
2. MRI 検査の前後に、アンケートへの回答
3. インタビュー（研究者との面接）　　をお願いいたします。

MRI 検査については、平日の 9：00～17：00 の間に実施いたします。

夏休みなどの長期休暇の間に参加していただくことも可能ですので、ご都合に合わせて日程を調整いたします。

相談・問い合わせ窓口

この研究にご興味のある方は、
本研究用のアドレス（kodomobraintky@gmail.com）にご連絡ください。

タイトルを「こども MRI 研究参加希望」とし、
①お母様のお名前、②アンケートをお送りする住所　を本文中に記入してください。

後日、研究担当者より、ご指定の住所宛に、アンケート（お母様記入用）と情報提供書のフォーマット（主治医記入用　※現在、お子さんに主治医がいる方のみご使用ください)、返信用封筒を郵送させていただきます。
ご記入いただき、返信用封筒にてご返送ください。

＜研究責任者＞
東京大学医学部附属病院こころの発達診療部
助教　石井礼花

こどもと親のMRI研究

小学生のお子さんとそのお母さまを対象に、MRI（磁気共鳴画像）での脳画像研究に参加してくださる方を募集しています

参加者募集

東京大学医学部附属病院
東京都文京区本郷7-3-1

▽ 募集期間

2019年（令和元年）
～2022年（令和4年）度

▽ 研究参加期間

平日（9~17時の間）

※ ご希望に応じて日程を調整いたします。
夏休みなどの長期休暇に合わせて日程を組むことも可能です。

▽ 謝 金

1組につき5000円

▽ 参加要件

【お子さん】

- 8～12歳の小学生
- 現在、特に健康上に問題がなく、これまでに大きな病気をしたことがない方
- 日本語での検査や面接ができる方

【お母さま】

- お子さんのお母さま（20～60歳）
- 日本語での検査や面接ができる方
- お子さんと一緒に研究に参加できる方

▽ お問い合わせ先

東京大学医学部附属病院
こころの発達診療部
メールアドレス：
kodomobraintky@gmail.com

くわしくは、東京大学医学部附属病院
こころの発達診療部のHPをご覧ください。

東大病院　こころ　MRI研究

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、
東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

【研究課題名】子どもへの成育環境の影響を測定するマルチモーダルMRI 神経ネットワーク指標の開発
【研究責任者】東京大学医学部附属病院 こころの発達診療部　石井礼花 助教
国立成育医療研究センター 思春期リエゾン診療科　田中恭子 診療部長
聖心女子大学 現代教養学部　向井隆代 教授

研究参加のためのチェックリスト

【特に健康に問題のないお子さんのお母様について】

1	定型発達児の母親（20～60 歳）である。	
2	日本語での文書および口頭での意思疎通が可能である。	
3	子どもと一緒に研究参加が可能である。	
4	研究期間中、東大病院への来院が可能である。	
5	研究期間中、必要なときに連絡のとれる手段（電話・email）がある。	
6	統合失調症および双極性障害の診断を受けていない。	
7	臨床的に速やかな薬物治療を開始する必要がある精神症状（うつ病、高度な不安、緊張、激越など）がない。	
8	本研究の参加期間中、他機関において治療を目的とした医学的研究・心理社会的研究・心理社会的アプローチなどを受ける予定がない。	
9	心臓ペースメーカーを使用していない。	
10	脳血管クリップを使用していない。	
11	人工心臓弁を使用していない　（プラスチック製であれば可能）。	
12	神経の電気刺激装置を使用していない。	
13	埋め込み式ポンプを使用していない。	
14	カテーテル、チューブを使用していない。	
15	金属片の体内残存がない。	
16	金属による目の外傷（X 線による金属片残存の可能性）がない。	
17	耳内人工物を使用していない（人工鼓膜は可能だが、人工内耳は不可）。	
18	入れ墨（眉毛やアイラインなどのアートメイク）がない。	
19	現在、妊娠している可能性がなく、研究参加中も妊娠の予定がない。	

【特に健康に問題のないお子さまについて】

1	研究参加時、8～12 歳の小学生の児である　（性別は問わない）。	
2	本研究の参加について、十分な理解の上で自由意思による同意が可能である。	
3	母親と一緒に研究参加が可能である。	
4	日本語での文書および口頭での意思疎通が可能である。	
5	統合失調症および双極性障害の診断を受けていない。	
6	臨床的に速やかな薬物治療を開始する必要がある精神症状（うつ病、高度な不安、緊張、激越など）がない。	
7	本研究の参加期間中、他機関において治療を目的とした医学的研究・心理社会的研究・心理社会的アプローチなどを受ける予定がない。	
8	知的な遅れがない。	
10	重度の自閉スペクトラム症ではない。	
11	ADHD 特性を有しない。	
12	心臓ペースメーカーを使用していない。	
13	脳血管クリップを使用していない。	
14	人工心臓弁を使用していない　（プラスチック製であれば可能）。	
15	神経の電気刺激装置を使用していない。	
16	埋め込み式ポンプを使用していない。	
17	カテーテル、チューブを使用していない。	
18	金属片の体内残存がない。	
19	金属による目の外傷（X 線による金属片残存の可能性）がない。	
20	耳内人工物を使用していない（人工鼓膜は可能だが、人工内耳は不可）。	
21	入れ墨（眉毛やアイラインなどのアートメイク）がない。	
22	現在、妊娠している可能性がなく、研究参加中も妊娠の予定がない。	